

2018 / 10月号

vol.11

# 真心 明るく 正しく



## 特集

### 内視鏡室リニューアル 健診による早期発見

- 新任医師のご紹介
- 院内勉強会を開催しました

みどりヶ丘病院広報誌

私たちは真心の医療と福祉を通じて、地域の人々に貢献します





特集

# 内視鏡室リニューアル

胃がんと大腸がんにおける内視鏡検査の重要性と、2018年7月にリニューアルした内視鏡室での内視鏡検査の特長を紹介します。

## ▶ 『がん』の現況について

厚生労働省の人口動態統計によると、2015年は全死亡者の28.7%、実におよそ3.5人に1の方が、がんで亡くなっていることとなります。実際には、治療により根治されている方も多くおられることから、非常に多くの方が生涯においてがんに遭遇する可能性を示しています。

また、国立がん研究センターがん対策情報センターから発表されている2016年の部位別がん死亡数では、肺・大腸・胃が上位を占め、他の臓器より多いのが特徴です。

がんは非常に怖い病気ですが、検診により早期発見をすることで根治が見込めることも多いので、それぞれの病気の特徴を知り、定期的な検査を受けることが肝要です。

## 胃がんとヘリコバクター・ピロリの関わり

ほとんどの胃がんの発生には、『ピロリ菌※』の感染が関わっていることが近年わかってきました。ピロリ菌の感染の有無をできるだけ早く知り、感染している場合には除菌治療を行うことが、胃がんのリスク低下に繋がります。ただし、除菌治療が成功した場合でも、胃がんのリスクがゼロになるわけではなく、非感染者に比べると高いということが知られています。

**ピロリ菌感染がある方、また、既往のある方は、胃がんの早期発見のためにも定期的な内視鏡検査が重要です。**

※ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)：

幼少期までに感染を期し、以降感染状態が持続します。原則、成人では免疫が確立されており、ピロリ菌の持続的な感染は起きません。ピロリ菌感染が起きると慢性的な胃炎が引き起こされ、長期的な経過の中で胃・十二指腸潰瘍やがんの発生に繋がる可能性があります。

## 大腸がんの多くは、定期的な内視鏡検査で発生を予防できる！

大腸がんの罹患率は40歳以上で多く、積極的に大腸がん検診を受けていただくようお勧めします。大腸がん検診は、便潜血反応検査を2回提出し、1回でも陽性であれば、2次検診である大腸内視鏡検査へすすみます。便潜血反応の陽性は、必ずしも大腸がんが存在するとは言えるものではありませんが、何らかの病気が存在することを意味しますので、積極的に内視鏡検査を受けていただくことが重要です。

また、大腸がんの成因の多くは『腺腫（一般的に大腸ポリープと呼ばれている良性腫瘍）』が大きくなり、その過程でがん化するものと考えられています。大腸内視鏡検査を行った際には、腺腫の治療を行うことが一般的です。特に小さい腺腫の治療であれば、入院も必要ありません。定期的な内視鏡検査を行い、腺腫が治療できていれば、大腸がん発生そのものを予防できると言えます。

## 胃がんと大腸がんの治療について

胃がんと大腸がんの治療法は、転移の有無やそのリスクによりさまざまです。早期にがんが発見でき、病理学的にリンパ節転移等のリスクがなければ、外科的手術を必要とせず、内視鏡的切除で治療が完結できます。また、仮に進行がんでも手術加療を要する場合でも、その進行度によって根治度が違うため、より早く診断に至ることが重要です。手術加療についても、腹腔鏡手術により、以前と比較して身体的侵襲が減り、術後の回復も早くなっています。がんから命を守るだけでなく、より低侵襲な治療で根治を得るためにも、定期的な内視鏡検査が重要といえます。

『症状がないから病気がない』、というのは間違った解釈です。特に早期のがんや前がん病変となるような腺腫では、ほぼ症状はありません。これらのことを是非知っていただき、胃がん、大腸がんから身体を守っていきましょう。

## 当科の内視鏡検査の特長

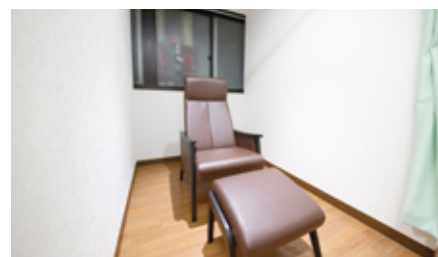
内視鏡室のリニューアルを行いました。検査台がひとつ増え、以前よりも綺麗な設備で、多くの方に検査を受けていただけるようになりました。また、リカバリーベッド、リクライニングチェアも新調し、検査後もより快適に過ごしていただけます。大腸内視鏡検査においては、テレビをみながら下剤を服用いただける前処置室や、前処置室の隣にトイレを完備いたしました。よりよい環境で臨んでいただける内視鏡室になったかと思えます。

内視鏡検査に対して「つらい」「しんどい」「怖い」といった負のイメージが強い方には、鎮静剤の使用をお勧めします。鎮静剤は注射で投与し、多くの方は眠っている間に検査を終えることができます。内視鏡検査は定期的に受けることが重要ですので、1回1回の検査を安楽に受けていただくことが大切です。なお、鎮静剤を使用される方は、検査当日の自転車や自動車等の運転は控えていただけます。

### ●女性スタッフによる検査

大腸内視鏡検査を受けるにあたって、女性の方のアンケートでは「恥ずかしい」といったご意見が多くみられます。非常に重要な意見で、これが理由となり検査の機会を失うことがあってはなりません。当院では、医師・看護師・臨床工学技士等のスタッフ全員が女性の体制で検査に臨んでいただくことが可能です。ご希望の方は検査を予約する際に、遠慮なく仰ってください。

患者さまの視点に立ち、よりよい内視鏡検査を提供し、皆さまのご健康の一助となれますよう、当科、内視鏡室スタッフ一同、努力して参りますのでよろしくお願いたします。



リクライニングチェアと前処置室



消化器内科医師と内視鏡室スタッフ

# 健康診断特集

## 2018年7月より、高槻市で 胃がん検診(胃内視鏡検査)がスタートしました!

がんの中でも胃がんは、表に示しますように罹患数2位、死亡数も3位という高い位置になっています。そのため胃の定期的な検診がとて重要となってきます。

### ■ 2014年罹患数の多い部位順

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	胃	肺	大腸	前立腺	肝臓
女性	乳房	大腸	胃	肺	子宮
男女計	大腸	胃	肺	乳房	前立腺

### ■ 2016年死亡数が多い部位順

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

※国立がん研究センター調べ

従来高槻市での胃がん検診は、バリウム検査だけでしたが、今年7月より、バリウム検査か内視鏡検査かを選択できるようになりました。

胃がん検診の対象者は、満50歳以上の偶数年齢の高槻市民の方です。胃の疾患にて通院中で、定期的な内視鏡検査が必要と言われている方(胃がんの治療後・ピロリ菌除菌中)や妊娠中・妊娠の可能性のある方は対象外です。



当院の内視鏡検査は、苦痛・嘔吐反射が少なく、検査中でも会話ができ、同時に画像も見られる経鼻カメラも取り揃えております。バリウムの飲み込みに不安のある方は、内視鏡検査をお勧めします。

胃がん検診では、鎮静剤・鎮痛剤は使用できません。嘔吐反射が強く「どうしても鎮静剤を使用したい」、「眠っている間に検査を終わらせたい」などのご希望がありましたらまずはお相談ください。

(保険診療での内視鏡検査となります)

◆内視鏡：日曜・祝日を除く毎日午前中

◆バリウム：水曜・木曜日の午前中

### 生検に関する注意事項

抗血栓薬(血液をさらさらにする薬)の服用がなく、生検(病変の一部を取り出して詳しく検査をすること)を行った場合は、2週間前後で当院消化器内科にて診療し、生検結果を報告させていただきます。

抗血栓薬を服用している方は、胃がん検診(内視鏡検査)での生検ができません。また抗血栓薬の休薬もできません。生検ができないことをご了承の上、胃がん検診のご予約をお願いします。

「生検ができないなら保険診療でのカメラかな…」と迷っておられましたら、まずはお電話、あるいは直接健診室までご相談ください。

### お問合せは健診室へ (当院総合受付向かって左斜め)

ご予約や、健診・検診に関する相談は、お電話でも受け付けております。

当院では、在籍している8名の消化器内科医のうち、3名が女性医師です。また、内視鏡検査技師免許を持った看護師も多数勤務しておりますので、安心してお越しください。

健診室直通電話 **072-681-5998**





一般検診を受けているだけでは、容易には発見につながらないがん。近年患者数が増加しております。大事に至る前に自ら検査を受けることで、早期発見・早期治療に努めることが大切です。

## 女性のための 女性医師・女性スタッフによる 乳腺外来・乳がん検診・大腸内視鏡検査について

特定健診や会社健診を受けてはいるものの、乳房や大腸内視鏡となると、検査を受けた方がいいのはわかっていても抵抗がある方が多いのではないのでしょうか。

表に示しますように、がんで亡くなる女性の部位別順位で、全年代では1位が大腸、64歳までは1位が乳房となっています。大腸内視鏡検査や乳がん検診は羞恥心の強く出る検査です。女性医師や女性スタッフで対応させていただいております。

### ■ がんで亡くなる女性の部位別順位

	1位	2位	3位	4位	5位
全年代	大腸	肺	胃	肝臓	乳房
30～64歳	乳房	子宮	大腸	肺	胃

※2015年厚生労働省人口動態調査

### 乳腺外来・乳がん検診について

乳腺外来・乳がん検診(超音波検査:30歳代)		乳がん検診(マンモグラフィ検査:40歳以上)	
毎週月曜日 午後	女性医師	月・木・金曜日 13:30～	女性技師
第2・4火曜日 午前	男性医師		
第2・4土曜日 午後	女性医師		

触診や超音波検査を実施し、必要時は診察室にて生検(細胞を採取して顕微鏡検査)をします。

2～3週間後に結果が出ますので再度受診していただきます。受診時は、上下に分かれる洋服の着用がお勧めです。

#### 乳房に症状は無く、乳がん検診をご希望の方

30代の方が対象の超音波検査、40歳以上の方が対象のマンモグラフィ撮影と、年齢によって検査方法が異なります。

乳がん検診は2年度に1度の検診となり、昨年度検診されていない方が対象です。いつ検診したかがご不明の場合は、「高槻市健康づくり推進課(水道部庁舎4階・電話072-674-8800)」にお問い合わせください。

#### 乳房に症状(しこり・分泌物・へこみ等)がある方

乳腺外来をお勧めしています。

いずれにしても女性医師・女性技師が対応いたしますのでご安心ください。

※当院の乳がん検診に関するお問い合わせは、

健診室(直通電話072-681-5998)までお願いいたします。



### 大腸内視鏡検査について

検査当日の朝と昼は絶食となり、前処置として検査当日の朝9時より腸管洗浄剤の内服が必要となります。

医師と相談の上、ご希望により鎮静剤の使用も可能です。鎮静剤を使用した場合は検査後1～2時間休息をとり帰宅となります。また検査結果により、入院が必要となる場合もございます。

大腸内視鏡検査をご希望の場合は、一度消化器内科の受診をお願いしております。

なお地域の医療機関からのご紹介は、病診連携室にてご予約を承っております。かかりつけ医にご相談ください。

検査のご予約時には「女性の医師とスタッフ希望」とお伝えください。

健診室直通電話 **072-681-5998**



## 新任医師のご紹介

### 内科

なかにし よしのり  
**中西 嘉憲**先生



以前は総合診療医として徳島県で勤務しておりましたが、内視鏡のスキルアップのため、縁があって本年4月よりみどりヶ丘病院へ赴任いたしました。これまでの経験を生かしつつ、内科・消化器疾患に携わってまいりますのでよろしくお願いいたします。

### 循環器 内科

[医長]  
はの よしふみ  
**羽野 嘉文**先生



循環器科領域の中でもカテーテルを使用した治療を専門としており、心臓を取り巻く冠動脈や心臓からつながった手足の血管に至るまでの治療を行っております。最近では、外来検査の造影CTで、ほとんどのことが分かるようになりました。胸の違和感・動機・息切れがある方、あるいは歩行時における下肢の痛み・しびれ、また、潰瘍・安静時疼痛がある方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。

### 外科

いとう ひろし  
**伊藤 博士**先生



今年4月より勤務させていただいております、外科の伊藤と申します。早くも半年近くが過ぎようとしておりますが、まだまだ慣れない点も多く、ご迷惑をおかけしております。当院で手術を受けて良かった、とっていただければ幸いですよう努力いたします。

新たに8名の医師が着任いたしました。

今後も医療体制をより一層充実させて参りますのでよろしくお願いいたします。



## 整形外科

こいけ ひろのり

小池 宏典先生



今年7月から赴任いたしました。専門は脊椎・脊髄外科で、薬物療法やリハビリなど保存的治療により改善しない場合は、体に負担の少ない低侵襲手術を心がけています。患者さま一人ひとりに適したより良い医療を提供できるように努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

いわい ひろゆき

岩井 宏之先生



2018年6月からみどりヶ丘病院の整形外科で勤務させていただいております。学生時代に12年間過ごした高槻で働けることを嬉しく思います。皆さまの痛みなどお困りの症状が少しでも改善できるよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

## 皮膚科

[部長]

こたに

小谷 はるみ先生



この度、4月よりみどりヶ丘病院で勤務させていただいております。

当科では、パッチテスト・生検・アレルギー採血などの検査を積極的に行っております。また、患者さまと丁寧にお話をし、検査・治療を考えていくことをモットーにしておりますので、皮膚でかゆい・痛いなど、お困りの症状があればお気軽にご相談ください。

## リハビリ テーション科

さかもと ようこ

坂本 洋子先生



本年4月より赴任させていただきました坂本洋子と申します。入院中だけでなく退院後の生活に汎化させることを重視して、多方向からの介入を心がけて日々の診療にあたりたいと思います。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



## 院内勉強会

## 院内勉強会を開催しました

### 糖尿病教室

- ・支える足を支えよう  
ー今日から始められるフットケアのコツ教えませー
- ・薬剤師からの提案  
ーあなたのお薬何種類？ー
- ・筋肉をつくる“ちょうどいい”タンパク質の摂り方
- ・検査値からフレイルをみてみよう  
ー採血後の検体はどこへー



楽しく予防体操  
を行ったりも  
します！

4月と5月に糖尿病教室を開催しました。  
4月は当院の高橋内科医師が講師となり、健康な状態と介護が必要な状態の中間を意味する「フレイル」を予防するための講義を行い、5月には当院の理学療法士が講師となり、筋肉の役割についての講義を行いました。参加された方々のアンケートでは「大変分かりやすかった」とのお声を多くいただいておりますので、皆さまも是非参加してみてください。  
当院では今後も院内勉強会を開催していく予定です。日程、内容等その他詳細はホームページをご参照ください。



当院では、患者さまが安心して診察や治療を受けられるより良い環境を作ることを目的に、ボランティアの受け入れを行っています。職員と協力し、ボランティアとして一緒に患者さまの心に寄り添った活動を行ってくださる方をお待ちしています。ご興味のある方は、当院人事課までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】みどりヶ丘病院 人事課 〒569-1121高槻市真上町3-13-1  
TEL:072-681-5792(直通) 受付時間:午前9時~午後4時(月~金)

### 編集 後記

今号では健診に関する記事をご紹介しましたが、いかがでしたでしょうか。少しでも皆さまの健康につながればうれしく思います。広報には今年の7月から、新たに2名が入職いたしました。みどりヶ丘病院の魅力や取り組み・活動などを、しっかりと伝えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

### INFORMATION

診療受付時間:午前8時15分~午前12時 ※受付終了時間は診療科によって異なります。

休診日:日曜・祝祭日、及び年末年始 時間外診療:365日24時間対応 お問い合わせ:TEL 072-681-5717(代表)

ご意見、ご感想  
お問い合わせはこちらまで



病院広報  
電話番号

**072-681-5764**



社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院

〒569-1121大阪府高槻市真上町 3丁目13-1 <https://www.midorigaoka.hospital/>

